

：はじめに：

本書は、受験生がぜひとも経験しておくべき代表的な過去問を題材に、論述問題への具体的なアプローチを示し、その考え方、答案作成に至る過程を明示したものです。

論述問題が、他の一般的な入試問題と異質なものであることは、本書を手にとる諸君は十分承知しているでしょう。論述問題では、同じ問題の答案にも様々な書き方、答え方がありません。論点をどこまで挙げるか。出題者の意図をどう読み取るか……。そのため、論述用の問題集というのは、なかなか製作しにくいものなのです。多様な解答例を列挙するのではまともさがつかなくなってしまいますし、そもそも、他人の書いた解答例というものは、どうしてもじっくりこない、納得できない部分が出てきてしまうものです。生徒諸君から「なにかいい論述用の問題集は？」と尋ねられるたびに、言葉を濁すしかありませんでした。

一方で、論述対策に悩む人には、必ず、「とにかく書いてみる」というアドバイスを繰り返してきました。そして、「添削を受けること」「書いたら持ってきて」ともつけ加えてきたのです。1年間にそれほど多くの問題演習をこなせるわけではないのが実情なので、ある程度は自習してもらわなければならないからです。

本書は、問題のセレクトから解答例の確定まで、すべて共同作業で、会議を重ねて作ったものです。当然、大きささまざまな問題で意見は対立しましたが、結果的にはそれがかえって本書を客観的で妥当なものにしたと考えています。安心して、本書に従って論述対策を進めてください。もちろん、まず、自分で問題をよく読んで、自分なりの解答を書いてみることです。そして、解説を熟読してください。

そして、余力があれば、予想問題を利用した添削問題に取り組んでください。

本書は、神原が論述問題集出版の実現を強く主張し、満田、桑山がこれに協力を申し出、長年の付き合いと、若干？年長ということから石川が加わり、河合出版の快諾を得て実現したものの改訂版です。各人の個性を生かした上で、すべて4人の衆議で出来上がったものです。決して、寄せ集めの問題集ではありません。全体を通して、必ず論述問題に対応しうる確実な学力が確保できるものと確信しています。安心して、本書をガイドに確実な論述力を獲得し、志望校の合格を手中に収めてください。

編集委員一同

本書の取り扱い説明書

■論述は「5W1Hが基本である」という無茶・不必要な要求、すでに否定されている学説や誤った理解に基づく解説・解答、教科書レベルをはるかに上回る「単語知識」の羅列・偏重など、世の自称「論述問題集」の問題点の多さには驚かされます。さらにそのほとんどは、論述に取り組む受験生が持つべき「知識」の水準、具体的に問題に取り組むときの着眼点や論の立て方、展開の方向などを示していません。そして「分類に汲々としている」と本書を批判しながら、自らも分類に汲々としている本まで現れました。

■まず大前提として、本書は、あなたの教科書や学校・予備校などの通史授業などを通じた学習を前提にしています。これと並行して、そうして仕入れた知識を論述問題に取り組めるだけの水準に高めていく、つまり論述の方法論やコツ（文中では「作法」と呼んでいます）を身に付けてもらうことを目的に作成しています。

■そこで、概ねこんな使い方・学習の進め方が基本になります。

〔前提〕教科書・授業などを通じた通史的理解ができているつもりになるまでガンバル。



〔訓練〕「Chapter 1」＝「作法」を読んで、学んで、納得したつもりになる。論述問題の仕分け＝「類型」分けも出来るようになったつもりになる。

〔解答〕そこでももろに「Chapter 2」の問題を広げ、自分で自分なりの解答を作る。まず、独力で書いてみるのが大切。

〔修行〕本体解説「Chapter 4」を読んで自分の至らなさを痛感し、明日に備える。



〔修行の連続〕本書ばかりでなく、受験予定の大学の過去の出題にも多く取り組む。受験予定大学以外に、類似タイプの大学の問題に取り組むのも効果的。

東京大－首都大学東京－東京学芸大－名古屋大－京都府立大－慶應大(経)

＝問題文＋比較的短い字数の各タイプ問題の混在…35字～200字程度が大問に数題
一橋大＝長い字数＋知識が重要＋数本の校問からなる……………400字

新潟大－岡山大－千葉大－筑波大＝比較的長い字数＋誘導も多い……………100～400字

京都大－大阪大(文)－津田塾大－早稲田大(政経)

＝中間的な字数＋知識が重要……………120～200字

学習院大(文)－法政大(文)－成城大(文芸)＝短めの字数＋知識も要求……………100～200字



〔結果〕もちろん、志望校合格！

■当然、論述問題の解答は、一つしかないものではありません。問題の条件に合致し、事実関係が正しく、そして論理的な破綻もなければ、評価を得ることが出来ます。本書では「採点基準」を示し、いくつかの問題では「解答例」で別解も用意しました。

目 次

作法・問題編

はじめに	1
Chapter 1 日本史論述へのアプローチ	3
Chapter 2 論述例題 39 + 参考例題 7	25
Chapter 3 予想問題/添削付	53

解説編

Chapter 4 解説	5
Section 1 原始・古代	7
例題 1 墓制の変遷と社会の変化	
例題 2 冊封から対等外交へ	
例題 3 天智朝の内政と外交	
例題 4 律令制下の郡司 — 添削例 ☞ —	
例題 5 8世紀の対外関係	
参考例題 1 遣唐使の影響	
例題 6 行基の活動	
例題 7 嵯峨朝の意味	
例題 8 受領の性格	
例題 9 初期荘園と寄進地系荘園	
例題 10 摂関政治と院政の比較	
Section 2 中 世	37
例題 11 中世の朝幕関係	
参考例題 2 鎌倉幕府の将軍の地位	
例題 12 惣領制の展開	
例題 13 浄土教と鎌倉新仏教 — 添削例 ☞ —	
例題 14 守護大名と戦国大名	
参考例題 3 守護と守護大名	
例題 15 惣村と一揆	

- 例題 16 畿内に土一揆が集中した理由
 例題 17 日明貿易の推移
 例題 18 室町文化の特徴

Section 3 近 世 61

- 例題 19 太閤検地の歴史的意義
 例題 20 幕藩体制の成立
 例題 21 幕藩体制下の対外関係
 例題 22 上米の制と参勤交代
 —— 添削例 ④ ——
 例題 23 大坂の地位
 例題 24 寛政の改革
 例題 25 江戸時代の教育
 例題 26 幕府と洋学の関係
 例題 27 開国・貿易開始とその影響
 参考例題4 近世貿易における金・銀・銅の地位

Section 4 近現代 87

- 例題 28 立憲政友会の結成
 例題 29 帝国憲法下の内閣
 —— 添削例 ④ ——
 参考例題5 戦前の政党内閣
 例題 30 大正デモクラシー
 例題 31 条約改正の達成
 例題 32 ワシントン体制
 例題 33 日中戦争
 例題 34 地租改正とその影響
 参考例題6 松方財政のもたらしたもの
 例題 35 「工女節」の意味
 例題 36 金本位制の歴史
 参考例題7 金輸出再禁止とその影響
 例題 37 近現代の教育
 例題 38 高度経済成長とその矛盾
 例題 39 戦後日本の国際的地位

がんばってください 127

著者紹介 128

添削用紙